

専攻建築士紹介



ビューロー
ベリタスジャパン(株)

柏木 文夫

〔設計専攻〕

〔法令専攻〕

建築の専門分野の充実と明確化

私は昭和34年一級建築士となって、以来47年公務員から設計事務所と教職を歩んで、現在は確認機関に勤務しています。

公務員時代は公共建築物の設計と積算、現場の施工監理から建築行政に拘る確認審査、公庫の住宅審査、検査等から設備に至る迄、当時は田舎の医者のように多種に渡って担当させられて来ましたが、そんな中で企画設計に専門を見出し設計事務所に移ると共に設計監理をも平行して担当しました。又建築長年に渡る経験と知識を生かし専門学校で、教職の道に入り若い建築を志す学生と接し、更に現在は建築基準法の改正に伴う民間確認機関で審査や検査の仕事をするようになった折、今回の専攻建築士制度が出来て今迄良い意味での何でもやっていた建築士が各専攻分野での研究と知識の向上によって、21世紀の多種多様の大型化した建築生産に於いて、安全且品質監理体制の強化と法令遵守によって災害から守れる建築物が人々の生活を豊かにすると思います。私はこの建築に半世紀携わり多くの方々から色々な相談を受けているハウズドクターであり、最近医者職場である病院も数多くの専攻分野がある事から建築士においても今回の専攻建築士制度によって、専攻領域が出来て各々の主たる業務において実務実績とCPD研修の参加による単位の取得等によって建築士の専門分野で知識の向上とプロ発展につながる事と思います。

又私は日常確認業務の検査で数多くの建築士の方々と現場等で接する時、専攻建築制度の話と専門の設計と法令に拘る知識を解説すると共に今後多くの建築士が各々得意分野で専攻建築士をめざすためCPDの研修参加と共に21世紀のハウズドクターとして地位の向上を計り、各専門分野で活躍し安全で安定した社会での都市環境の発展に貢献する専攻建築士が数多く出来る事を願います。